



国立大学法人
東京学芸大学

Education

平成20年度採択 質の高い大学 特別支援教育時代の教

～客観的なアセスメントと指導計画の作成～

小・中学校等には、LD等の特別な支援を必要とする児童生徒が
東京学芸大学では教職を目指すすべての学生に対して、児童生
目指した取り組みを平成20年度からスタートし

I 授業の充実

■ 授業風景



教員を目指す全ての学生に「障害児の発達と教育」の授業を、教育基礎科目の中の必修科目(2単位)として課しています。

■ 授業担当者会議

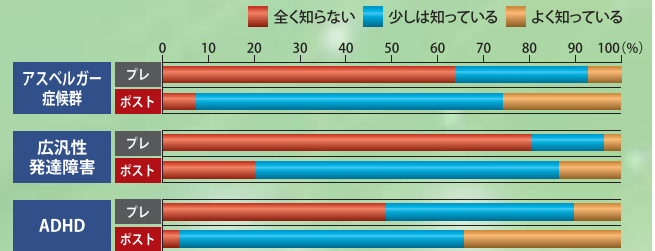


「アセスメント」や「個別の指導計画作り」を授業で実施するために、内容や教材、授業の流れなどについて話合っています。

■ 授業アンケートの結果

授業開始以前は、50%以上の学生が「全く知らない」と回答。発達障害」「アスペルガー症候群」「ADHD」「個別の教育支

■ 障害に対する認知度



II 教育実習の充実

■ 教育実習用教材の開発

教育実習等で使うスライドやDVDを作成しました。今年度は、各附属学校の特別支援教育コーディネータの先生から実習生に対して、今回開発したDVDを用いて特別支援教育についての説明をしてもらいました。一人ひとりを大切にする教育実習になったようです。

特別支援教育
ワンポイント講習 DVD



DVD を使ってみての声

- 特別支援教育コーディネータの先生から
 - ・使用して良かった 100%
 - ・事例を増やしてほしい
 - ・簡単な解説資料がほしい
- 実習生から
 - ・映像があることで理解しやすかった
 - ・事例があることで保護者の立場、本人の立場の話がきけた

TOKYO GAKU

for All

特別支援教育推進プログラム(教育GP)

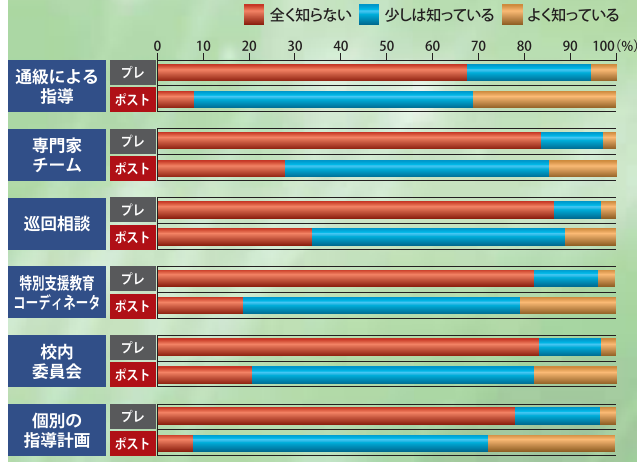
教員養成システムの開発

できる小中学校等の教員養成を目指して～

5.3%(2002年の文部科学省調査)在籍しているとされています。
生徒のアセスメントとそれに基づく指導実践のための力量形成を
しました。これまでの取組についてご紹介します。

「障害名や特別支援教育に関する用語(「広汎性
支援計画」など)への理解が高まりました。

■ 特別支援教育に関する認知度



成果の発信

Q&Aでわかる冊子の作成

教育実践の場で子どもの支援の助けになるようなものをめざしました。多くの方から配布してほしいとの希望がありました。



シンポジウムの開催

本事業の一環として、シンポジウム「通常学級の教員に求められること」を開催しました。親の会、小学校(校長、コーディネータ)、教育委員会の方々にシンポジストになっていただきました。子どもの教育に関心をもつ多くの皆様方にご参加いただきました。



臨床活動の活用



臨床活動の説明会を実施しました。

TEI UNIVERSITY